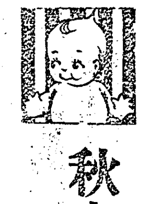
夕刊
九月二十八日發行



秋窓談義（四）

小林生

その時に席末に居た一人の少年が其の公子の前に進んで『虎や狼は人を食つて生命を綴つて居ます。彼等は其の食用に充つるために人といふものを作つたことを天に感謝して居るでせう』と。之を聞いた其の公子はじめ一同が啞然として、暫くは何もいふことが出來なかつたといふことが傳はつて居る。實に此の話には深い意味が含まれて居るのである。吾等は自然の恩惠に對して感謝すると共に、此の自然の恩惠を濫費しては相濟まぬといふことをいつも考へて居なければならぬのである。西行法師の詠んだ歌に

わづかなる庭の小草の白つゆをもとめて宿る秋の夜の月

といふのがある。二坪か三坪の庭にはねて居る草にも露が置くのであるが、その露には月の影が必ず宿るのである。月の影は海の水や大きな河の水にのみ宿るのではない。吾等は天地の恩を受けて之を自己の一身に獨占するといふやうなことを考へてはならぬ筈である。

また自然の恩惠がいかに大きくても、人の力が之に加はらなければ其の大なる恩惠は殆んど役に立たぬので、書經の中にも

天工人其れ之に代る。

といふ語がある。人が天に代るといふのは天の作用を無視するといふことではない。人の力を以て天の力を補うて之を實際の用に立てるといふことである。前に例に引いた船の便利といふことに就て考へても、水の恩惠といふことはまことに莫大なものであるが、此の水を利用して船を動かすといふことを工夫した人の力といふものは實に偉大なものである。吾等は天の力に感謝すると共に、此の天の力を資くるために努力したところの多くの人に對しても心から感謝しなければならぬ。例へば海の水には鹽分といふものがあつて、此の水の中から鹽を取つたのは人である。若し我等の生活から鹽といふものを取り去つたら一日も我等は此の生活を續けて行くことはできぬ。併し誰が鹽を造ることを發明したのか、其の人の名は全くわからぬ。又鹽の作り方にしても多くの工夫を加へ、多くの改良を施されて今日に及んで居るのであらうが、其等の努力をした人々の名は殆ど今に傳はらぬ。吾等は此等の無名の大恩人に對して感謝しなければならぬのである。

9月29日

△奈良大佛を鑄る（天平七）△ネルソン生る（一七五八）

9月30日

△王陽明生る（明の成化八）渤海來貢す（弘仁五）

○

忍耐と信仰とは山をも動かす

ウイリアム・ペン

わがあけくれに

河越百代

○このごろの花のともしきわが庭、秋桔梗の咲くを俟つのみ

○さかりなる松葉牡丹をみるときにわれの心はをさなにかへる

○たちまちにゆふ立いたり庭土の埃をまきて咲くさしも

○部屋ぬちにあかるき陽ざし充ち溢れ森閑として眞夜のごとしも

○隣家の百日紅の花むらの華麗目にありいく度か行つ

連續講談 異說赤穗浪士

別題『異說赤穗義士』『赤穗誠忠錄』

〔19〕

桃川若燕 講

城木 畫

田村邸へお預け

『內匠頭、今日上野介に刃傷に及びし次第、樣く遺恨ありとも覺わず、全く亂心の次第でござらう』

云はれて內匠頭は閉眼り流るる淚を止め亂心と云ひ兼れるは內匠頭の家を助け、生命も助けやうと云ふ老中方の慈悲の籠れる言葉、有難いとは思つたが、また考へて見れば武士たる者が亂心致したとあつては此上もない恥辱

『御言葉有難くは存じまするが、內匠頭亂心は仕らぬ』

『これはしたり、亂心でないと云ふ夫れが則ち亂心でないか、內匠頭 お身の眼は斯く云ふ但馬は判るまい、イヤ丹後守も見わないことであらう』

『恐れ乍ら如何程お尋ねに相成つても內匠は聊かも亂心は仕らぬ、遺恨に遺恨重なり、最早忍びがたく今日意を致し彼れを一刀の下に斬り捨、その上にて命を終らんと思ひしに、武運拙くも彼を討ち漏らしたるは殘念至極、此の上亂心者と相成つ存命致さうとは聊かも思はず、此上は天下の御處刑、如何なる極刑に處せらるゝとも決して恨みとは思ひ申さず、存分に御處分願ひたい』

『これ程に相尋ねても亂心致さぬと申さるゝな、アヽ是非もない』

亂心をしないと云ひ家を救つて貰ひたくないと云ふ內匠頭の心底を上げたものであると思ひながら秋元但馬守に稲葉丹後守は連れ立つて將軍家に再度お言上、その結果即日田村右京太夫屋敷に預け切腹、三屋敷召し放し、播州赤穗城付五萬三千石は取り上げと決まつた。

茲に於いて芝愛宕下田村右京太夫殿御屋敷にお預け、御檢視として御目付庄田下總守、大目付多門傳八郎、御上使大久保權左衛門、大介錯徒士目付儀田武太夫、小介錯入徒士目付松永幸四郎その外小人目付十三人附けられる。

吉良上野介、高家部屋に引取りお醫師吉田拜庵御療治を仰せ付らる。

上野介は

『手前、斯る負傷にては迚も存命は叶ひ難い。倅佐兵衛督に逢ひたく存ずる。上杉彈正大弼にも逢ひたく存ずる——』

『上野殿、貴方樣のお手傷は極めて淺傷でござる』

『左樣仰せらるゝ拙者が氣を落すといけないと思つて、左樣な氣休めを仰せられるのでござらう』

『イヤ斯樣でござる安心なさい、最早血潮は格別出ない位——』

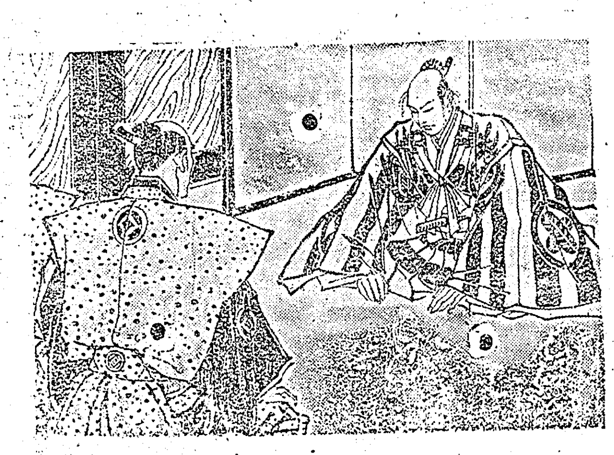
『左樣でござるか——』

と漸く安堵した。ところへ大目付仙石伯耆守が係りとなつて上野介に尋問ながら出來つ。

『アイヤ、吉良殿、今日內匠頭と口論刃傷の儀は兼ねて遺恨あることの儀と見わる、速かに申し上げよ』

『これは〈意外なお尋ねを蒙りまする 某は毛頭遺恨などを受けまする覺はさら〈ござりません、又、某より口論などは思ひも依らぬ事、全く內匠頭の亂心の仕業と相見わます。それ故某は殿中御場所柄を考へ內匠頭が斬りつけましても刀の柄にも手を掛けず、刃傷の儀は天下の御法度と存じまする故殿中の御法を相守り將軍家を守護し仕らんと存じ殘念なる背後傷を蒙りました次第にござゐまする』

と、奸佞な上野は得意の辯舌で云ひ逃れたからこれはお咎めなし、



小兒科・內科
酒井醫院
入院隨時
平市南町（電五五番）
醫學博士 酒井保

附設『洋裁科』生徒募集
要旨 本校ハ時代ノ要求ニ應ジ別ニ洋裁科ヲ設ケ洋裁專門學校出身ノ新進教員ガコレガ指導ニ任ジテ居リマス
入學資格 小學校卒業上ノ學力ガアレバ年齡ノ制限ナク、ナタデモ入學出來マス
修業年限 修業期間ハ前期六ケ月 後期六ケ月デス
募集人員 凡三十名
學期始 十月一日（但シ隨時入學モ差支アリマセン）
其他 裁斷學、裁縫等總テ個人教授ヲ旨トシ且ツ各種材料等極力經濟的ニ考案シテアリマス。ミシン其他ノ使用料一切不要
○詳細ハ本校ニ就イテ問合セ下サイ
文部大臣認可
平市田町
藤田女學校
電話三二八番

平看護婦會
附屬に家政婦會員を募集致します
電話三〇七番

メガネ專門の店
メガネは絶對信用ある當店に先づ御相談下さい…………
平市本町二丁目 玉屋

吸入用酸素
呼吸困難治療として早くおすゝめ下さい
流行感冒豫防に（マスク）各種あります
病氣豫知に（體溫器）各種あります
平市古鍛冶町一〇（縣社下）
阿康藥局
電話四四番
振替東京三〇〇六五番

內臟外科 整形外科 胃腸 性病
內臟外科 腦脊髓病科 外科
整形外科 レントゲン科 理學療法科
內科 胃腸病科 肛門病科
花柳病科 皮膚科 泌尿器病科
醫學博士 松村亨
醫學得業士 松村鐵郎
平市南町 電一〇七
松村醫院

產婦人科
井坂醫院
平市田町 電五五九
見習看護婦入用

國はニッポン 魚は凍魚
日本水產特約
卸小賣 平製氷會社（電三八・三二六）
タヒ 甘鯛
エビ マナ鰹
白魚 帆立貝柱
冷カツノコ ウニ貝燒
ヒノマル凍魚
平代理店 四丁目 卜印魚問屋
配達ハ一尾一箱ヨリ迅速ニ致シマス。

コーライト
木炭・豆炭・コークスの代用燃料
三菱コーライトヲ御奨メ申上マス
特長……火力強ク火持チヨク、木炭ノ半値
御使用ハ御家庭用ノコンロ、火鉢、鍛冶用
一俵（五〇キロ）カラ配達致シマスドウゾ御注文下サイ。
昭和十五年六月
平市田町二
阿部石炭商店
電話一三三 七七番

お醬油は……ヤマフル
味噌醬油 ソース 正宗 鰹節 食品料
明治 命磐城代理店 山崎與三郎
塩屋
山崎合名會社
福島縣平市
電話（營業部一〇番 本店二七番）

吸入用酸素 純度99%
度量衡
モノサシ マス ハカリ
計量器
体温器 寒暖計
種ノ取揃 豐富。總 致シマス。
關內藥局
電話四〇番

ユアサランプ
電池配給所
自轉車とリヤカーハ
矢野輪業商會
電話七三〇番
振替口座東京七二三〇番

西村屋藥局
電話三番です
藥品百貨と寫眞機材料の店です
平市本町二丁目
西村屋藥局

これは便利！
△手を荒さず
△絹、毛織物、木綿、スフの生地を傷めず
△つけてたくだけで洗へる
美 マルミ粉末石鹼
製造元 平市材木町一一

機は秋空に亂れ飛ぶ
幼き手に作り上げた性能を發揮
けふ第一校で記念催し

顧へば明治四十三年十二月我が徳川、日野兩大尉が代々木の練兵場ではじめて數十米飛んでから三十年、紀元二千六百年の慶祝すべき式年に當つて設けられた今航空記念日をトし平第一小學校では昨報の如く各校兒童をし、模型飛行機を作製せしめ今朝會に於て篠田校長の航空時代に關する訓話後 各兒童が心血を傾注した愛機を飛翔させたが夫々の考案に性能を誇る數百の模型機は秋晴れの空高 縱横に飛び交ひ、中には本ものそこのけの鮮かな旋回振りを見するものなどもあつて急霰の拍手裡にこの日に相應しい快擧を了つた。

秋刀魚地元出廻り
江名の第二船塩釜入港
東京直送幾分緩和か

東京へ直通のかたちで市内には案外出廻らない秋刀魚は江名町太陽丸や同濱勝丸其他第二船が一昨二十六日朝來續々塩釜に入港してゐるので東京直送が幾分緩和され今度は相當地元でも有りつける模様である。今年の漁況に就て某船主の談と云ふのを傳へ聞く 厚岸七・八十浬のところであつたが二十日出港しながら二十一日、二十二日の兩日荒れたためどの船も網を下すことが出來なかつたやうで二十三日やうやく 魚群に會つた今年の秋刀魚は餘りよくなく魚群も相當散つてゐたやう。初魚職では負けたが四千八百貫もとつて寧ろ値段も一番船より高いから却つて二番船につてよかつたやうなものだ

明瞭正確に!
國勢調査近づく
記載は

市では來月一日午前零時を期して全國一齊に行はれる國勢調査を前にし調査員と連絡目下記載上の注意指導に大童となつてゐるが更に萬全を期するため今二十七日市内各區長を經て記載上の注意事項を摘記通牒した市民はこれを熟讀の上萬遺憾なきを期せられたいと

銃後奉公援護
産業奉仕委員會實践

地方産業奉仕委員會は今二十八日午前九時から公會堂に開き來月七日から五日間に亘り實施される銃後奉公强化週間中の實施事項を左の如く決めた

△七日 應召中小商工業者、傷痍軍人、歸還軍人並に戰死者遺族の店舗工場巡回
△八日 取引先及顧客の維持援護
△九日 原料商品仕入實施
△十日 金融機關に援護周知
△十一日 中小商工業者

の經營改善指導

鮭溯上本格
頃日の鮫川夏井川

鮫川、夏井川における鮭の溯上もやうやく本格的となり河口附近の漁獲も目立つて來たが今年は降雨續きから水量も相當に豐富な關係から鮭群も近年になく認められてをり一貫匁三圓以上の高値に漁師達はホクホクである

製麥加工場新設
飯米不足の對應策に
平米穀商組合で計畫

飯米の圓滑なる配給を期し兵精兵販に企業合同を計畫しゐる平米穀商組合では更に不足飯米の對策として麥類の補給が當面の緊要事なるに鑑み製麥加工機の設備及び平麥の製造を行ふこととなりこれが工場新設のため市内五色町地内三百七十余坪の市有地借用願を市に提出したので市は三十日午前十時から土木委員會にかけ協議する

入錦△三十日川部

歸還勇士感謝會

市では來月一日午前八時から縣社子鍬倉神社で歸還勇士に對する感謝會を開く

學童にズック
市の割當て決る

市では第三第四兩國の兒童用ズックが配給されたのでこれを四小學校並に磐城訓盲院に割當てた

けふ平市會再開

税制改正に伴ふ追加更正豫算、市税徴收などを全員委員で審議した休會あけ平市會は今二十八日午前十時招集、殆ど原案通りの委員會内容を矢吹(初)委員長から報告、これを可決閉會した

植田署管内防訓打合

○○○○植田署管内防空訓練打合會は左記日割で開く

△二十八日入遠野、上遠野、植田△二十九日田

小名濱防訓打合

小名濱町では明二十九日小學校で左記指導員らを中心に今次防空訓練の打合せをなす

小野晋平、樋口速、大浦弘四郎、小野榮三郎、水野政次郎、丹治治、立花秀吉、佐伯三郎、近藤安雄、小野長松、草野新兵衛、西丸猛、高木惣治、堀越喜六、松本房之助、山野邊茂、小松重兵衛、馬上長吉、高木忠治、小島源七、野崎昇太郎、草野良太郎

煙草收納所新設

郡山地方專賣局では煙草收納の圓滑を期し、地方左記二ヶ所に煙草收納所を新設する

上遠野村、泉村

今月分砂糖
あすから配給

市では今月分砂糖を明二十九日より既報配給所から配給するが數量は前回通り一人當り半斤である

産報聯合會結成

平署管内工場協會產業報國會などの各種團体は新体制に即應、合体し產業報國平地方聯合會を結成すべく準備中

獻金

内郷村内町字高坂小學校高等科二年生上津源三君は夏休中勤勞奉仕をして得た金三圓をそつくり國防獻金した

陣中を聽く
(852)

上陸以來病みもせず
無事に御奉公を續く
下平窪出身 鈴木操君(伍長)

謹啓、皆々様其後ご機嫌如何に御座候哉お伺ひ申上候。降て小生儀御蔭様にて大陸の暑さを克服して大元氣にて軍務に服して居ります。

上陸以來今日迄一度も病魔に犯されず御奉公が出來るのも市民御一同様の厚き御聲援と御鞭撻の賜と深謝致し居り候。回顧致しますと小兵入隊の際は驛前に、市長様はじめ各團体御見送り致され、また市長様よりは此上なき有り難き御言葉を拜し心中何物かは覺悟に秘め勇ましく入隊致せし候より任地に參り候後も切々なる感激文など頂だい致し度々の御厚情深く深く感謝致し居り候。今後も益々粉骨碎身以て皆々様の御期待に副ひ奉り度念願に御座候。御同隊の平出身者諸兵大元氣にて居り候間何卒他事乍ら御放念遊ばされ度候。今後益々國家の干城を發揮致し故郷の皆々様に御心配相掛け申すまじく心掛けで邁進致すべく心算に御座候。先は近況御通知まで。敬具

攻略に參加
大平正夫君

拜啓其後は永い間御無音に打ち過ぎまして誠に申譯ありません、其後市民御同様にはお變り無き事でせうね、私も毎日元氣で務めを果して居ります御休心下さい。此度の攻略戰に參加し國家のため御奉公が出來ました事は市民各位のお蔭と感謝して居ります。當地はまだ暑いです。步哨に立つ時が最早くれそこは可なりの繁華な所ですが毎日不氣味な銃砲聲の音は絶えません、しかし野菜當りにあまるが言葉が通じないので面白くないです。市民各位の御健康を祈る

御心配無用
市内白銀町出身 松本健次郎君

御無沙汰致しました。叔父母様お變り御座いませんか、僕は相變らず元氣で奮闘して居ります故御安心下さい。こゝ大陸にも秋風が吹き木の葉がぱらぱらと散つています。しかし殘暑はそれに厳しいです。現在當地に分遣を命せられ同盟者の栗拾ひの所を撮影していたゞきました。入營當時撮していた寫眞を送ります。同盟ニュースに出ると思ひます。右御送り迄

湯本町の溫泉復活
愈よ旬日中に實現
入山坑内排水利用完成

既報、入山の坑内排水を利用する湯本町の溫泉復活計劃は其後引續き豫定通り進行し、昨今漸く通水の運びに近づいたが時恰も防空訓練とカチ合ふので右終了後直に通水試驗を行つた上豫期の結果を得るに於ては取り敢ず各利用者各別に淨化槽の裝備をなして即時利用を開始し茲に何年來世人の記憶から遠ざかつた溫泉地としての湯本町は愈よ曲りなりにも復活する筈となつた

有り合せを利用
資材に新規購入無く
少い經費で上る

右は入山炭礦前方上町所在の警防團貯水(湯)槽から二台の鐵筒を以て町内へ送湯するのだが之に要する鐵管は最後の復舊計劃當時の品が買入れ未使用の儘になつてゐたものを借り受け之を亦緩坑より引湯當時使用の同町上水道完成以來使用廢止の儘埋設されてゐる木管に連繫し各利用元へ配湯するもので、資材不足の昨今新に購入するとせば之れのみに數萬圓を要する處を以上の便宜に恩まれ今回要した差當りの經費は僅か三千圓足らずで仕上るわけである

高溫で加熱の要なし
一軒の再生溫泉旅館喜ぶ

而して通じての今回の復活に關係する旅館は勿論往時の松柏館、山形屋、大瀧、常盤館、つた屋、古瀧、佐野屋、備中屋の八軒で、而も高溫で加熱の要なく關係者一同は喜びである

テイチクの青山伸來平
佑賢出身の異色

新譜「一尺の土」などで知られてゐる新進聲樂家「テイチクの青山伸」事丹重松氏は磐崎村下湯長谷の出、昭和八年市内磐城佑賢學舍中等科を卒業後日立旋盤工として前後五年の工場生活中天分に磨きをかけ日立音樂會のメンバーとして各方面にその美聲を謳はれてゐるうちポリトールの樋口晴雄氏に見出されて上京レコード界への第一歩を踏んだ既に「女性の民」「天樂の詩集」などを吹込み「一尺の土」は氏が應召大陸に活躍し歸還後亡き戰友達に捧ぐる追悼の曲であると寸暇を得て數日來歸郷中であつたが今二十八日歸京した

ズック靴配給

○○○○小名濱町產業組合では此程配給されたズック靴を小名濱、玉川泉各小學校兒童に八文から九文まで八十五錢、七文から七文半は六十八錢で割當て配給すると

寄附

市内高月四四先崎正君は金七圓五十錢を市銃後奉公會へ寄附 また新川町三浦和雄さんは慰問袋三個を市役所へ寄託 また田町五四小松錦治さんは三女の病氣全快祝を節約し金三圓を同上

市内無名氏から馬糧用茶殼の寄附があつた

次韻齊藤隆夫先生所感詩
珠璽 小野毅平

議政壇場不朽功
嶄然卓越萬人中
硯向聲廢拋棄職
擧令欽君國士風

平市慶弔錄

△出生 四波字石森一〇七小泉久一氏七男光行君 本籍道匠小路五五水戶市奈良屋町二〇四吉田正芳氏二男起國君、本籍北目町一三一茨城縣日立市富田一三〇加藤義久氏三男晃君

▲死亡 本籍南町二七東京

全員いが栗
磐炭製作所で
非常時斷髮令

頭の新体制は女子の雀の巣騒ぎから漸次男子方面に及び昨日迄のチック鮮かな蜻蛉あたまが忽焉として見るも薩張りした毬栗に急轉の微笑ましい非常時情景が至る處に點描されてゐるが 磐炭製作所では此程數百名の從業員に對し一齊に斷髮を實行せしめ上下學つて時局下の張り切りを見せて居る

拈華微笑

市中野區江吉田一丁目一八一村上ムツさん(七五)

□

けふ第一校庭に地上バイロットの萌芽
模型機は秋空に亂れ飛ぶ

□

物語りめいた溫泉情調は時節柄味へなくも一寸嬉しい湯本の坑内排水利用

□

磐炭製作所員の毬栗刈行朝毎の調髮時間が省けて亦能率增進の新体制

□

あす縣下著人の制覇接戰雨らせ度くないものだ

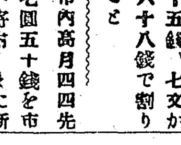
□

解放日を前に今宵の心はときめく

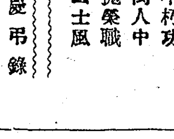
日曆

新曆 九月二十九日 日曜 八白 乙亥 大安 滿 昴宿

舊曆 八月二十八日 丙子 九



▲一白 心願々に破るゝときは忙しきのみに功勞なし▲二黑 坂東なおすの心を以てたわまずん幸福報▲三碧 脫線なつゝしみ事にうむことなくば、日となる▲四綠 汗より生れ來る效果の初めて現はる幸福日▲五黃 兩分はあれども散まんなる行ひも生じ易き日▲六白 氣だ勵まし奮闘すれば、の援助も加るべし▲七赤 吉運のれども一歩を誤れば波らんを生ず▲八白 騎虎の勢ひに逸らば不測の禍を招致すべし▲九紫 麗のみ大なる割合には實入りの存外少き日



▲一白 むはしきりに、せども物事思ふ様に運ばぬ日▲二黑 引立てに逢ふて立身出世すべき幸運日たり▲三碧 身を守ること貞實なるときは無事たるべし▲四綠 運氣は至つて壯んなる日なれど失費も多し▲五黃 窮することあるも屈せざれば自然の道開く▲六白 樣々の屈曲ありて岐路にふみ迷ひ易き凶日▲七赤 行く先き進む先きに故障の生じ易き注意日▲八白

潮時

二十八日 【小名濱測候所觀測】 滿潮 前一、三五 後二、五五 干潮 前八、三〇 後八、五五

二十四日 滿潮 前二、三五 後三、三〇 干潮 前 後 九、一五 九、三五

天氣豫報
小名濱測候所發表

今晩 北の風晴時々晴
明日 同

驕り怠りを戒め家業を勵むときは發展あり▲九紫 安心の樣に見へても急變を生ずることあり

內臟外科
泌尿器科
北川外科
ゲン科
○入院隨時
醫學博士 北川芳夫
平市新川町 [電四六四番]

重田眼科
眼科專門
眼鏡檢定
平驛前
重田醫院

裏の起らぬ
原口のラヂオ
原口無線電機株式會社代理店
古山電氣商會
平市二丁目 (警察署通り)
電話(呼出) 166

開業
民刑法律事務一般
內外特許事務一般
辯護士 辨理士 增田法律特許事務所
平市字搔鎚小路一
電話平六二五番
振替仙台一〇九三五番

磐城名物
靈峰羊羹
小川郷驛前
平屋寶店

田每の
たしること
おぞうに
中田町電632